

---

# 大食術2

ケニーD

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

大食術2

### 【Nコード】

N9075Z

### 【作者名】

ケニード

### 【あらすじ】

動ナビ5号として書いていたネタの改稿版です。

暑いです。暑いとまず、食欲がなくなります。

数年前、覚えている人はいないでしょうが、「茶わん1杯しか食べられなかった私が、たったの3日でご飯を2杯も食べられるようになった驚愕の大食術」の話を書きました。

で、残念ながら、当時はそれにチャレンジする精神的な余裕がなかったため、結果、私は茶わんに乗ってマンションの屋上から飛び降り自殺をしたわけですが、茶わんだけが割れ、この通り、私は生きています。

あれから今まで、食べられる量はほとんど変わらず、茶碗一杯程度。おかわりをしたことは有りません。

できるなら、男らしくガツガツと飯を食いたい。

口の周りに飯粒をつけながら「おかわり！」と大きな声で言いたいたい。たとえばそれが、セルフサービスの店だとしてもです。

だから私は、今度こそ「茶わん1杯しか食べられなかった私が、たったの3日でご飯を2杯も食べられるようになった驚愕の大食術」にチャレンジしようと思ったのです。

前にこの情報を持ってきてくれたのは、友人でした。私はその友人に連絡をとり、懐かしさもあって想い出でも語ろうと、以前のマンションの屋上を指定して会う約束をしました。

「懐かしいな。2年ぶりか」友人は言いました。「そうだな。俺はここから飛び降りた」「どうやって?」「え? こうやって」

私はまた、茶わんに乗って飛び降りたのです。友人は選びました。

### PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9075z/>

---

大食術2

2011年12月28日23時56分発行